

～令和4年度「学生による授業評価アンケート」集計結果～

本校では学則第26条「自己点検および評価」に基づき、各専任教員の教育能力の向上にむけた取り組みの一環として学生による授業評価アンケートを実施しています。今年度は下記要領に基づき実施しました。

1. アンケートの目的と調査対象

目的：学生の評価・意見から、自分が行った授業の実態を把握し今後の授業改善に役立てる。

対象：本校の専任教員が担当している授業（講義・技術演習・臨地実習）。

2. アンケートの種類と回答方法

種類：「講義」・「技術演習」・「臨地実習」の3種

回答方法：紙面への記述形式とする。4段階尺度による評価（4：とてもそう思う、3：そう思う、2：そう思わない、1：全くそう思わない）および意見の自由記載。

3. アンケートの実施方法

- ※ 原則として、終講時に担当教員がアンケート用紙を学生に配布する。
- ※ アンケートは無記名とし、評価や自由記載の内容がどのようなであっても、成績には影響しないことを事前に学生に説明する。
- ※ アンケート評価への参加は学生の自由意志であるが、教員の「教育能力の向上」「授業改善」のねらいに基づく活動であることを十分説明し、協力を得るようにする。
- ※ アンケート結果は副校長が取りまとめ教員にフィードバックし、成果と課題を明らかにするとともに、カリキュラム運営及び改善につなげる。

4. 集計結果

①「講義」の授業評価アンケート集計結果（履修者数…延べ612名、回収率…64.7%）

今回集計対象となった講義は以下のとおりです。

- 基礎看護学：共通基本技術Ⅰ、日常生活を支援する技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護研究、診療に伴う援助技術Ⅱ、治療・処置・検査に伴う援助技術
- 在宅看護論/地域・在宅看護論：在宅看護方法論Ⅱ、地域・在宅看護概論、地域・在宅看護方法論Ⅰ
- 成人看護学：成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅳ
- 老年看護学：老年看護学概論、老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 小児看護学：子ども看護学概論、小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ
- 母性看護学：母性看護学概論、母性看護学方法論Ⅰ・Ⅲ

「講義」一評価項目	平均値
1) シラバス（授業計画）に記載してある学習目標と学習内容を把握していた	3.6
2) この講義に意欲的に参加した（集中して聴く、ノートをとる、質問をする等）	3.8
3) シラバス（授業計画）の要点や評価、受講上の留意点等の説明があった	3.8
4) 学習目標や講義計画が明確であった	3.8
5) 時間や内容の配分がよかった	3.7
6) 教員の説明は、具体的でわかりやすかった	3.8
7) 教員の話し方は聞き取りやすかった	3.7
8) 教員は、学生の興味を引き出すような工夫をしていた	3.8
9) 学生が質問しやすく、答えも丁寧であった	3.7
10) 教材・教具（教科書・参考図書・板書・プリント・DVD・パワーポイント、模型など）は効果的であった	3.8
11) この講義は興味・関心が深まる内容だった	3.8
12) 学習目標は達成できた	3.8
<評価項目の平均>	3.75

《自由記載》

- ・ 質問や分からないことを QR を読み取って気軽に送れるのが良かった。
- ・ グループワークなどが多く、自分の考えを深めることができたので良かったと思います。
- ・ 資料もポイントを押さえていてわかりやすかった。説明も丁寧でした。
- ・ 手袋やエプロンのつけはずしは特に使うので、すぐ身に付けられてよかった。
- ・ 在宅実習に行くうえでの作法について「なるほど」と思った。
- ・ 教科書や参考書にもどって、学習できたところがよかった。
- ・ アセスメントの仕方の説明が分かりやすかったです
- ・ 学生の状況に合わせて提出日を変更して下さり、やる気の出るコメントも多く学生が取り組みやすい環境を整えていた。
- ・ 先生が例を上げたりして丁寧に話してくださったり、私たちに考える時間を下さったので、より深く学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・ 聞き取りやすく理解が深まった。こういうときはどういう対応をすればいいのかも学べて今後につながると思った。
- ・ DVD で留意点を見ることができてよかった。
- ・ 実際の患者さんの話を聞いてイメージを持つことができて良かったです。
- ・ 事前学習があったため授業も分かりやすく楽しかった。スムーズに授業が頭に入った。
- ・ スッと入ってくるような授業内容で、動画もすごく良いものだと思います！
- ・ ビデオを見ることによって、よりその疾患を患っている人や家族のつらさが分かった。
- ・ パワポの資料だけでなく、各自で書き込むものもあり自分で考えることができた。
- ・ 高齢者の気持ちや生活背景を理解できるよう努力でき、その人に分かりやすく説明・指導するためにはどうすればよいかなどグループメンバーや仲間と十分に話し合いグループワークに参加できた。
- ・ 時間がなさすぎ。忙しい時期に大変な GW の授業をもってこないでほしい。大変すぎた。
- ・ 声が聞き取りづらいのでマイクを使ってほしい、資料も見にくい。
- ・ 時間通りに終えてほしい。

②「技術演習」の授業評価アンケート集計結果（履修者数…延べ 240 名、回収率…70.8%）

今回集計対象となった技術演習は以下のとおりです。

- 基礎看護学：共通基本技術Ⅰ・Ⅱ、日常生活を支援する技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、
診療に伴う援助技術Ⅱ、治療・処置・検査に伴う援助技術
- 母性看護学：母性看護学方法論Ⅲ

「技術演習」－評価項目	平均値
1) シラバス（授業計画）に記載してある学習目標と学習内容を把握していた	3.7
2) この演習に意欲的に参加した	3.9
3) グループの一員として協力して取り組んだ	3.8
4) シラバス（授業計画）の要点や評価、受講上の留意点等の説明があった	3.8
5) 講義で学んだ知識とつながり、わかりやすかった	3.8
6) この演習の学習目標は明確だった	3.8
7) 全体の時間配分はよかった	3.8
8) 演習の進め方は、順序よく整理され行動しやすかった	3.8
9) 教材・教具（教科書・参考図書・板書・プリント・DVD・パワーポイント、模型など）は効果的であった	3.8
10) 教員間の指導の方向性が一致していた *複数の教員が担当した場合のみ回答	3.9
11) 教員は、学生の理解度に合わせた指導をしていた	3.8
12) デモンストレーションはわかりやすかった	3.9
13) この技術演習を受けて知識・技術が深まった	3.8
14) この技術演習を受けて看護への興味・関心が深まった	3.9
< 評価項目の平均 >	3.82

≪自由記載≫

- ・1つ1つの手順を丁寧に教えてもらい、根拠をよく理解した上で演習を行うことができた。
- ・わからないときはていねいに教えてくださり、とてもよかったです！技術テストも受かって嬉しかったです。
- ・筋注で実際に針を使って何度も練習したこと。
- ・デモンストレーションも分かりやすく、授業内で何度も練習する時間があった点がとてもよかったです。
- ・筋肉注射の仕方が分かりやすく説明してもらえたのでよかったです。
- ・筋肉注射一発で合格できてよかったです！
- ・患者の気持ちを安心させるための援助を身に付けられてよかった。
- ・分からないことや細かい留意点などをていねいに教えてくれて分かりやすかった。
- ・DVD を見てからの演習がわかりやすかったです。
- ・すぐに実施できる環境が整っていた。
- ・なんでそうなるのか根拠を分かりやすく説明してくれて、授業が楽しかった。
- ・デモンストレーションの時の例えが分かりやすかったのですぐに取り組みました。

③「臨地実習」の授業評価アンケート集計結果（履修者数…延べ 495 名、回収率…50.5%）

今回集計対象となった臨地実習は以下のとおりです。

- 基礎看護学：基礎看護学実習Ⅱ、看護を知る実習
- 在宅看護論/地域・在宅看護論：在宅看護論実習
- 成人看護学：成人看護学実習Ⅰ－産業保健、成人看護学実習Ⅱ・Ⅲ
- 老年看護学：老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ
- 小児看護学：保育園実習、児童発達支援センター実習
- 母性看護学：母性看護学実習
- 看護の統合と実践方法：統合実習

「臨地実習」－評価項目	平均値
1) 課題を明らかにし、目標が達成できるよう努力した	3.7
2) グループの一員として協力して取り組んだ	3.8
3) 実習目標を達成するうえで必要な体験ができた	3.7
4) 事前オリエンテーションの内容は、実習を円滑に行うために役立った	3.8
5) 病棟・部署・施設のオリエンテーションの内容は、実習を円滑に行うために役立った	3.8
6) 行動計画について、教員から適切な助言・指導が得られた	3.8
7) 援助場面では、教員から適切な助言・指導が得られた	3.8
8) カンファレンスでは、教員から適切な助言・指導が得られた	3.9
9) 看護過程の展開について、教員から適切な助言・指導が得られた	3.8
10) 教員は学生が理解しやすい言葉や方法で指導していた	3.8
11) 教員は学生の気持ちや考えを受け止め尊重していた	3.9
12) 教員は看護者としてのモデルになっていた	3.9
13) 教員は学生の実習が円滑に進むように、適宜調整をしていた	3.8
14) 行動計画について、指導者から適切な助言・指導が得られた	3.6
15) 援助場面では、指導者から適切な助言・指導が得られた	3.5
16) カンファレンスでは、指導者から適切な助言・指導が得られた	3.7
17) 看護過程の展開について、指導者から適切な助言・指導が得られた	3.6
18) 指導者は学生が理解しやすい言葉や方法で指導していた	3.6
19) 指導者は学生の気持ちや考えを受け止め尊重していた	3.6
20) 指導者は看護者としてのモデルになっていた	3.6
21) 指導者は学生の実習が円滑に進むように、適宜調整をしていた	3.6
22) 教員と指導者間で指導の方向性がずれないように連携がとれていた	3.9
23) 実習施設・病棟・部署は学生を受け入れてくれる雰囲気だった	3.9
24) 実習に必要な物品はそろっていた	3.9
25) 記録する場所、カンファレンスの場所、私物置き場、休憩室などは確保されていた	3.9
26) 必要な文献や資料を見ることができた	3.8
27) 全体として充実した実習だった	3.8
＜評価項目の平均＞	3.75

＜自由記載＞

- ・ 教員、指導者から適確な助言・指導があったため、良い学びにすることができた。
- ・ 実際の褥婦の経過を見れたので、授業よりもイメージしやすく、知識として得られた。
- ・ とても分かりやすい助言と指導をいただけて、とても勉強になりました。

- ・いつもと違う環境や記録に不安があったが、指導をその都度して頂いてありがたかった。
- ・面会がないので家族の心理や父性を考えるのがむずかしかった。
- ・産業保健師の方の話を聞いてよかった。
- ・新しい形式のオンライン実習で分かりやすかった。
- ・見学だけだったが、保育士や看護師の関わり方が見れた。
- ・かかわり方は見れたが、遊びの場面だけだったため他の日常生活でのかかわりも見れたらよかったと思った。
- ・感染症の拡大があった中でしたが、見学をして子どもの様子を見ることができ実際の様子や関わり方を学ぶことができました。オリエンテーションや資料で障がい児への支援を詳しく学ぶことができました。
- ・面談の時に相談に乗って下さり、不安を少し減らすことができました。また、分からないところやできなかったところを、校内だったため先生にたくさん質問や相談ができた。
- ・実際に利用者さんのお宅を訪問し、家族と関わることができよかった。家族の介護に対する思いを聞くことができた。
- ・老年期にある対象に対して、その特徴を踏まえた看護を学べたのでよかったです。
- ・今日はどの指導者さんが担当してくれるのか紙で分かったことや、看護師だけでなく理学療法士の方とも関わったことでさらに学びが深まった。
- ・自己の感情について見つめ直すことができた。
- ・なかなか病院実習ができないなか、先生方も指導者さんからもわかりやすく丁寧に指導していただいた。
- ・子どもの状態がよく分からなかった。交流や質問の時間をもう少し設けてほしい。
- ・関わる時間があまりなかったことと、質問するタイミングがなかった。
- ・記録に関しての説明が不十分。何をいつ記録するのか明確にしてほしかった。

集計結果の考察と課題

- 講義、技術演習、臨地実習ともに評価項目平均が3.7を上回っており、高評価であった。
- 学生の意見から、DVDなどの視聴覚教材の活用は学習効果を高めていることが分かる。また技術演習においては、その行為の根拠・理由を理解できるような工夫をすることが看護技術の習得度を高めることが読み取れる。
- 臨地実習においては、指導者と教員の連携が学習効果を高めていることが分かる。
- 改善の要望については、授業を見直すための貴重な意見である。全教員が自分事として受け止め、「学生が何を学んだか」に価値を置く授業を展開できるよう改善に努める。